

日本真空学会 2012年7月研究例会
協賛 日本加速器学会 日本真空工業会

主題「若手が支える真空科学技術」

日本真空学会の扱う分野は、真空科学技術、表面、薄膜、ナノサイエンスなど多岐にわたっています。本研究会では、その中から真空科学技術分野において、興味深いテーマの研究に携わり、今後の真空科学の発展を支えていくことが期待されている5名の若手研究者に講演を依頼しました。若手の持ち味である自由な発想や独創的な視点から、研究成果や展望を紹介していただくと期待しています。各講演では質疑応答時間を通常よりも長く取り、活発な議論やコメントが投げ交わされることを意図しています。研究会終了後には懇親会も設けています。より多くの方にご参加いただき、若手研究者を囲んで、通常の講演会では得難い知的および人的交流の場を提供したいと考えています。

日 時 2012年7月13日(金) 13:00~16:45(受付 12:30~)

場 所 東京大学 生産技術研究所 As棟 311号室 東京都目黒区駒場 4-6-1
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html>

講演プログラム

- 開会の挨拶 (日本真空学会 講演・研究会企画委員会委員長) 杉山 直治 13:00~13:05
1. 大強度ビーム加速器と真空 (J-PARC や CERN での経験から)
(日本原子力研究開発機構) 神谷 潤一郎 13:05~13:45
2. ベーキング不要の高速超高真空排気と節電効果
(北野精機) 山崎 孝 13:45~14:25
3. 真空容器内壁での分子の脱離と圧力変化 -表面吸着状態密度の導出
(東京大学 生産技術研究所) 武安 光太郎 14:25~15:05
- 休憩
4. 高輝度電子銃における極高真空の生成
(高エネルギー加速器研究機構) 山本 将博 15:20~16:00
5. 日本の圧力真空標準の整備状況と標準コンダクタンスエレメントを使った分圧真空計の
その場校正について (産業技術総合研究所) 吉田 肇 16:00~16:40
- 閉会の挨拶 (日本真空学会 講演・研究会企画委員会) 谷本 育律 16:40~16:45

参加費 (当日会場にてお支払いください)

- 日本真空学会会員、協賛学協会会員 2,500円 (予稿集代を含む)
- 非会員 3,500円 (予稿集代を含む)
- 学生 無料 (予稿集 500円)
- 懇親会 (17:30~) 5,000円 (申し込み時に出欠をお知らせください)

申し込み・問い合わせ先

一般社団法人 日本真空学会 事務局
TEL 03-3431-4395 FAX 03-3433-5371
E-mail ofc-vs@vacuum-jp.org URL <http://www.vacuum-jp.org/>

本件担当

日本真空学会 講演・研究会企画委員会 (旧 日本真空協会 研究部会)
(高エネルギー加速器研究機構) 谷本 育律 (産業技術総合研究所) 吉田 肇